

北の逸品

会員企業が

こだわりを持って開発した製品を

認証する「北のブランド」。

その「逸品」の誕生について

ご紹介します。

写真はスパークリング・トマト。トマトジュースののろっとした口当たりを残しながらも、発泡が爽やかな飲み心地を加えている。



果実そのものの味がはじける
大人のためのサイダー

北海道サイダー

食品

浦臼町は、ワイン専用のブドウ畑の面積が日本一を誇る農業の町だ。地域の生産物に付加価値を付けようと発足した会社が(株)北海道アグリマートである。

同社はお酒が飲めない人でも楽しめるように、ワイン専用種のブドウ果汁一〇〇%で作った「ノンアルコールワイン」が長らく看板商品だった。近年は浦臼町の農家が栽培に力を入れている「キャロル7」という品種のミニトマトにも着目。イチゴ並みの糖度があるキャロル7を果肉ごと加工したジュースは、トマトをそのまま食べているような濃厚さと甘みの強さに、驚く購入者は多い。

本品は、この果汁そのままの濃厚なジュースとも印象が違う、飲みやすさと爽やかさを追求したものだ。「単に水で薄めるのではなく、全く違う物を作りたい」と思って炭酸水を加えました。特に当時、果汁を使ったトマトのサイダーは全国を探しても無かったので、実現させたいという思いもありました」と工場長の小林清さんは振り返る。

そこで苦小牧の炭酸飲料工場との協力を得て開発に取り掛かったが、いくつもの課題に直面した。「ブドウはいいのですが、トマトジュースのように固形分がある液に炭酸水を加えると、充填時に吹きこぼれが出るのです」と小林さん。吹きこぼれず、炭酸の爽快感と素材の甘みが一番良いバランスとなるまで、一年かけて試作を繰り返した。さらに、トマトよりも固形分の多いニンジンを使ったサイダーも完成させ、全四種で販売を始めた。

「自然の素材をそのまま使った炭酸飲料という、今までにないものが作れた」と小林さんの顔には満足の笑みが光る。購入者からは、これまで以上に驚きと感動を持って迎えられ、道内外にファンを広げている。

北海道サイダー

【希望小売価格】
スパークリング・トマト、
スパークリング・グレープ赤、
スパークリング・グレープ白、
スパークリング・キャロット
各300ml 550円(税込)

【購入可能店舗】
大丸札幌店B1F 道内名産品北ほっぺ
(札幌市中央区北5条西4丁目7)
TEL: 011-828-1111(代)

(株)北海道アグリマート
樽戸郡浦臼町字於札内381-10
TEL: 0125-67-3777

認証
ポイント

新規性があり、素材にもこだわった、特異な製品である点を評価。

札幌商工会議所認証
北のブランド

<http://www.sapporo-cci.or.jp/north-brand/> (北のブランド公式ホームページ)

●お問い合わせ/札幌商工会議所 部会・産業部 産業2課 TEL: 011-231-1374